

東大

無料



合格への道

わたしの合格体験記

現役東大生に聞きました！
合格までの道のり

東大攻略のカギ

赤本執筆者に聞きました！
主要科目攻略アドバイス

2013年度合格者の声
選択科目攻略アドバイス



わたしの合格体験記

現役東大生に聞きました！ 合格までの道のり

問題形式に慣れるために 各科目5周程度演習

M. N. さん

文科三類 2012年4月入学 神奈川県出身

大学でこんなことに打ち込んでいます

サークル活動

とある学生団体に所属していて、現在はその活動に打ち込んでいます。外部の方々との関わり合いが増えたので、その点では社会人になっても役に立つことを学んでいると感じます。

🔍 過去問を見て志望校決定

初めて見たのは高1の2月です。なんとなく興味のあった東大の過去問を見て、苦手な数学が思っていたより簡単そうに見えました（実際はそんなことはありませんでした）。それで「もしかしたら僕でも入れるかも」と志望を決めました。高2のときから意識はしていましたが、実際に少しでも問題に触れたのは高3の春で、本格的な演習は高3の夏休み中が最初でした。

📖 何回も解いて問題に慣れる

東大特有の問題形式に慣れることを目的として、各科目5周程度演習を行いました。演習の際には試験時間を意識しました。また、記述問題の解答や解説を何回も読み込みました。



✖️ ちゃんと対策しておけば…

基本的なことですが、苦手なものから目をそむけてしまったことです。地歴を言い訳にして、数学をちゃんとやらなかったせいで、東大本番1日目に失敗してしまいました。その直後から発表を見るまでは「だめだった」と確信していました。あれは今でも心残りです。

✓ 合格までのスケジュール

高1	2月	東大の過去問を見る 志望校決定
高3	4月	過去問に取り組み始める
	7月	過去問の本格的な 演習開始
	1月	大学入試センター試験
	2月	二次試験
	3月	東大合格！

受験生へのメッセージ

みなさんのゴールは何ですか？ 私は、東大入学はゴールではないと思います。東大に入ることだけを目的とせず、ぜひ常にその先も見据えて、今すべきことに取り組んでください。

東京大学は、向学心をもち続けたい人にはきっと素敵な場所となるでしょう。

東京大学に合格した人は、合格までにどんな道のりをたどったのでしょうか？ そこで、現役東大生に聞いてみました。自分流の過去問対策から失敗談まで、合格者の実体験はどんな感じ？（教学社編集部）

- 🔍 東大の過去問を見たのはいつから？
- 📖 赤本をどのように使ったか教えてください。
- ✖️ 「これは失敗だった…」と思ったことは？

過去問は合格に必要な ことが集約されている教材

野海 直子 さん

理科二類 2011年4月入学 白陵高等学校(兵庫)卒

大学でこんなことに打ち込んでいます

勉強

公衆衛生や保健学に興味をもって勉強しています。授業や実習もとても充実していて、分野の最前線の先生方から色々なお話を聞いたり、関連した本を自分で読んだり、友人と議論したりと、とても楽しいです。

🔍 授業で過去問に触れる

最初に過去問を見たのは高2の初め頃に学校の先生が授業で使ったときだと思います。本格的に始めたのは高3の夏休みです。それ以降、少しずつ触れてはいましたが、まとまった過去問演習はセンター試験後からです。

📖 過去問をやり込む

過去問は浪人時も含めて3周は見ました。夏は合格までの見通しを立てるためのサブ教材として使用し、冬は赤本を軸に間違えた問題の類題を他の問題集から探して解くなどして勉強しました。苦手の英語では『東大の英語25カ年』も使いました。また、自分で簡単に得点換算してモチベーションを上げたりもしました。過去問は一番合格に必要なことが集約されている教材だと思うので、やり込んでポイントや傾向を分析してみるとよいと思います。

✖️ 整理が大事！

現役時はとにかく目の前のことをこなすのが精一杯で、教材もバラバラでプリントの整理もきちんとできていませんでした。その後、思い切って教材を絞る、ファイリングをきちんとするなど自分もっている情報を取捨選択してきちんと管理することで、無駄なストレスもなく自分の学習状況を把握でき、見通しをもってやるべきことに集中できました。



✓ 合格までのスケジュール

高2	4月	東大の過去問を見る
	10月	志望校決定
高3	7月	過去問に取り組み始める
	10月	センター対策開始
	1月	大学入試センター試験
	2月	二次試験
1浪	1月	センター対策開始 大学入試センター試験
	2月	二次試験
	3月	東大合格！

受験生へのメッセージ

一発の試験のために勉強していると考えとしますが、今は学び続ける人生のなかの一部分で、今の努力がこれからの学びをより豊かにすると思えば、競争に押しつぶされず自分のベストを尽くせると思います。高校生のうちはなかなか実感がわかないかもしれませんが、勉強に集中できる環境と進学のチャンスを与えてもらっていることは本当に恵まれたことです。常に感謝の気持ちを忘れず頑張ってください。

東大攻略のカギ

赤本執筆者に聞きました！ 主要科目攻略アドバイス

英 語

筆 記



吉倉 聡 先生
Satoru Yoshikura

慶應義塾大学卒業、テンブル大学日本校TESOL(英語教授法)修了。現在は東京都内の中高一貫進学校で教鞭をとる。『東大の英語25カ年』(教学社)を執筆。

東大合格を目指しての受験勉強を通じて、英語の学び方の根本を捉えることができれば、それは一生の財産となる。



●最高レベルの英語力が要求される

東大の問題は、他の難関大学と比べて、問題自体が難しいわけではありません。しかし、問題量が非常に多く、出題形式が多様である点を考えると、受験生としては最高レベルの英語力が要求されるのは間違いないでしょう。

●総合的な英語力を高めることが大切

対策については、出題形式を考えれば、和訳を含む精読、概要を短時間に掴むための速読や多読、英作文、リスニング、文法、口語表現をバランスよく学習することが大切です。逆に言うと、東大の問題を意識することで、これらの要素を偏りなく学習することができます。要は、総合的な英語力を高めることが大切だ、ということです。

●じっくり過去問と向き合う

遅くとも高3の夏までに、出題形式別に数年分の問題にじっくり取り組んでほしいと思います。最初は時間を気にする必要はありません。過去問と向き合いながら、その難易度や特徴を体感してほしいと思います。また、和訳、英訳、要約は、信頼できる先生に見てもらおうとよいでしょう。

●「時間が足りない」は「力が足りない」

よく受験生から、「時間が足りないのでもうしたらよいかな？」と聞かれることがあります。しかし、英語力の底上げなしで早解きができる、というようなマジックは存在しません。実は、難問を課さなくても、処理速度を見ることで英語力を測ることは可能で、東大はこの点も考えて作問をしているはず。時間が足りないのは実力そのものが不足しているからだ、くらいに思った方がいいでしょう。

●音声教材を活用しよう

読解のスピードを上げるためには、読解教材などに付属している音声CDを活用することをお勧めします。読解教材を一通り仕上げ、その中の語彙や構文を理解したら、付属の音声CDを、英語のまま意味が取れるようになるまで何十回も繰り返し聞いてください。リスニング力だけでなく、読むスピードも向上するはずです。

受験生へのメッセージ

語学の道には、多少の要領は必要であっても、近道は存在しません。「読む・書く・聞く・話す」の4技能をバランスよく伸ばしながら、英語の経験値を高めていくことが、大学入学後も続く英語学習の王道です。東大合格を目指しての受験勉強を通じて、英語の学び方の根本を捉えることができれば、それは一生の財産となるはずです。

リスニング



武知 千津子 先生
Chizuko Takechi

予備校講師。おもに難関校志望の受験生を指導。『東大の英語リスニング15カ年』、『センター試験過去問研究 英語』(教学社)をはじめ多くの赤本を執筆。

語学はスポーツのようなものです。練習をすれば必ずできるようになります。



●集中力と素早的確にこなす力

東大のリスニングは、分量が多く、長時間の集中と限られた時間で問題を素早的確にこなす力が要求されます。また、例年おおよその形式は踏襲されますが、少しずつ出題内容が変わります。色んなパターンに慣れ、本番でどんな問題が出て戸惑わないようにしておきましょう。

●英語を聞く、読む

極端に難問ではない東大のリスニングですが、離れたところに複数キーワードがあるなど、複雑な作りになっています。そのため、英語を聞き慣れていることが必要です。なるべく多くの英語を耳から入れて、ネイティブの英語が

どのように聞こえるのかを知ってください。その際、数値や年号も意識してください。次に大切なのは、音読です。音読がうまくなれば、情報を聞き取る力も伸びてきます。

●『東大の英語リスニング15カ年』のカタカナ表記に注目！

本書を使う際は、スクリプトの横に設けた英語音声のカタカナ表記を是非活用してください。まずは、英文を見ずにカタカナ表記を声に出して読んでみてください。そして、元の英語が何だったかを推測してみましょう。このようにすると、実際に聞こえる音と紙面上の綴りとのギャップをより感じることはできるはずです。

●過去問を使ったシミュレーションは必須

東大のリスニングの試験は、英語の試験が始まって45分経過した頃から始まります。それまでに筆記のどの部分をやっておくのかといった時間配分が重要です。また、事前にリスニングの設定問を読んでおく時間も必要です。高3の夏までに一度筆記を含めてシミュレーションし、時間の使い方を考えておきましょう。

受験生へのメッセージ

語学はスポーツのようなものです。ルールを身につける必要がありますが、練習をすれば必ずできるようになります！ 焦らずコツコツ頑張ってください。

「東大の英単語」はカンタン？

東大入試では難単語ばかりが出てくるのだと思うかもしれないが、実はその約8割が基本単語である。難しいのは、英単語が深く理解できているかが問われるからだ。「基本単語はもう卒業した」そう考えている諸君にこそ、本書を使ってもらいたい。

(教学社編集部)



鬼塚 幹彦 著
四六判 本体1,500円＋税

いいよ登場！

センター試験リスニングアプリで赤本

- 1.5倍速で耳トレスピード調整機能つき
- センター試験本試+追試+試行テスト全17回

アプリ価格 無料
最新本試験1回分つき

iOS版 2013年11月
Android版 2013年12月
リリース予定

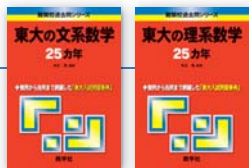
数 学



本庄 隆 先生
Takashi Honjo

京都府立高校、私立東大寺学園中等学校を経て、現在、東進ハイスクール東大特進コース講師、大阪桐蔭高等学校客員講師。『東大の文系数学25カ年』、『東大の理系数学25カ年』（教学社）を執筆。

トップ層の受験生の多くは、基礎的な知識でとても素直な解答を書きます。



●理系は難化傾向、文系は誘導のない問題に慣れよう

理系：この数年は標準レベルの問題が2題程度で体積や整数などは難度が高めです。ただし、小問設定の問題が多く、前半は解きやすいことが多いです。微分や図形の標準問題を確実に解き、解きやすい小問で得点を積み上げることが必須条件です。

文系：標準レベルが2題、やや難レベルが2題という設定。図形と方程式・微積・確率が多く、対数・三角関数・空間図形・数列が少ないなど分野に偏りがあるので、過去問研究が有効です。また、この3年、小問誘導のない問題が2～3題を占めるのが特徴です。

●『東大の理系数学25カ年』と『東大の文系数学25カ年』で問題のレベルを知る

「25カ年」を使う際は、レベルBの問題を早めに経験し、東大入試の標準の程度をつかみましょう。入試本番の緊張感は、自宅で解くのとまったく別物というのが受験生の実感です。普段は少し短めに、レベルA・Bの過去問を20～30分程度で解く訓練が大切です。

数学では小さな知恵の積み重ねも大切です。特に、答えが合っているときにも解答を吟味し、ほかの観点や別解などに目を通しましょう。この習慣の有無で力量に差が出ます。特に文系では、小問誘導のない問題を自分で「第1手」を考えて解くことを意識しましょう。

●難問より普通の問題を丁寧に

論理をごまかさない、場合分けをもらさない、計算を丁寧に、字を読みやすく。奇を衒おうとか、特殊な知識で得をしようとかしてはいけません。何か特別なことを学ばないと解けないのではなく、普通の問題を粘り強い思考で解く習慣が結局は大切です。それで解けない問題は、最終的には合否にほとんど影響しないというのが、過去のビッグデータから得られる事実なのだと思います。

●合格者の得点分布

下の表は、難化した2013年度の合格者の得点分布です。文理とも40点台（2題＋部分点）前後から合格者が多くなります。理Ⅲは70点（3題＋部分点）以上が多いです。他の科目次第で、年度によっては10点台での合格もあり得ます。

得点	文Ⅰ	文Ⅱ	文Ⅲ	文系合計	理Ⅰ	理Ⅱ	理Ⅲ	理系合計
100～								0 0.0%
90～99					1		4	5 4.9%
80～89	1			1 1.0%	1	1	8	10 9.8%
70～79		1		1 1.0%	4	1	2	7 6.9%
60～69	3			3 3.1%	6		7	13 12.7%
50～59	9	4	1	14 14.3%	18	3	2	23 22.5%
40～49	15	6	9	30 30.6%	10	3		13 12.7%
30～39	14	6	3	23 23.5%	12	4		16 15.7%
20～29	8	8	5	21 21.4%	8	5		13 12.7%
～19	3	1	1	5 5.1%	1	1		2 2.0%
総計	53	26	19	98	61	18	23	102

東進ハイスクール「東大特進コース合格体験記集」より
個人開示得点集計（2013年度・判明分）

受験生へのメッセージ

数学がある初日に、数学ができなかったと動揺する受験生が結構います。でもそのうちの多くの生徒が合格しています。初日の印象を2日目に引きずらず、気持ちを強くもつことが大切です。

国 語

現代文



桑原 聡 先生
Satoshi Kuwabara

高校教師。有名予備校、有名進学校で教鞭をとってきた、東大受験のプロ。『東大の現代文25カ年』（教学社）を執筆。

東大の過去問は、思考の訓練により素材です。



●決して難解ではない、完成された良問

現代文は、本文のポイントを理解しているかを順に確認し、最後に要旨を聞くという明快な設問構成が最大の特徴です。難解と思いついて入っている人が多いですが、本当はきちんと考えていけば正解が出る良問です。ただし、その時代の最先端の思想・内容が多く出されるので、読みこなすにはある程度の知識・教養を持っていないといけません。

●多くの過去問で考え方や答え方を学ぶ

過去問をできるだけ多くこなすのが、最もよい対策になります。初めのうちはすぐに解答を見てもいいんです。思考の訓練をするつもりで、考え方や答え方を学んでいってほしい。また、読書も必要です。『東大の現代文25カ年』は、高3の4月には始めたいですね。10年分ほど上述のようにやったら、もう一度、今度は自分で解答をまとめる練習をしていきましょう。やり方をつかんだ後は、さらに15年分。本書では、解答のポイントを明確に提示しています。ぜひ、自己採点してください。

受験生へのメッセージ

東大を目指すには、それなりの準備が要ります。知らない用語に出会ったら辞書で調べる。そんな当たり前のことから基礎力をつけていくことです。

古典



柳田 縁 先生
Yukari Yanagida

予備校講師。有名予備校で古文の講義や教材・模擬試験等の作成を行う。『東大の古典25カ年』（教学社）を執筆。

ただの受験勉強と思わず、言葉と真摯に向き合って。



●簡潔な解答を求めるまっとうな試験

古典の特徴は、一言でいうと簡潔な解答。解答欄の大きさからして、余計なことを書くとは心なことが漏れてしまいかねません。問題自体は口語訳と内容説明が主で、非常にオーソドックスです。ごくまっとうな勉強をしているら点数を取れるいい試験だと思います。文章も読んでいて興味深いものが選ばれていますね。

●言葉の機能と解釈とのつながりをつかむ

最低限の文法・句法は必要です。ただの暗記ではなく、言葉の機能やもとの意味を大きくつかんでいくようにすること。一通り仕組みを覚えたら、実際の用例にあたって有機的な解釈につないでいきましょう。口語訳はできて当たり前、内容説明は文章の流れを読み取ることが肝心です。敵を知るという意味で、『東大の古典25カ年』を早めに手に取って損はありません。どんな形式の問題なのか、手応えとして感じておくことが重要です。遅くとも高3の秋からは、週一程度のペースで計画的に解いていきましょう。

受験生へのメッセージ

記述式の答えは採点官へのプレゼンテーションです。相手に読んでもらえるよう、頭だけでなく手も使って、トータルでの勉強をしていくといいですね。

東大攻略のカギ

2013年度合格者の声 選択科目攻略アドバイス

日本史

東大日本史は、用語の暗記だけで解ける科目ではない（もちろん基礎事項を知っていることは背景知識として必要だが）ということを常に頭に入れておく必要がある。よって、対策として普段から教科書で歴史の流れを覚えておき、過去問演習では知識を頭の隅に置きながらもその問題で聞かれていることに適当な答え方をする必要がある。とはいえその「適当な答え方」をするためには経験が要るので、まずは恥ずかしがらずに先生に答案の添削をお願いして見てもらうのが良いと思います。

(T.H.さん／文科三類)

世界史

第1問…過去問を利用して450字～600字の大論述に慣れておく。問われていること（変化、意義など）に注目してメモを作る。直前期までは教科書を見ながら作成し、直前期からは何も見ずに取り組むことを勧める。

第2問…東大以外の過去問にも取り組み、出題されそうなテーマを探して答えをまとめておくと良い。

第3問…最近は基本問題の出題がほとんどなので、主に教科書を使って自分の苦手な単語をピックアップしていくと良い。

(T.H.さん／文科三類)

地理

とにかく論述ネタをたくさん持っておくことが重要。「毎年の中の中のどれかが出る」という頻出テーマは一通りマスターし、それ以外の問題もマークや記述系の模試の解答を読んでリストアップしていくことで対処できるようになる。有名ネタは5～10年前のものが形を変え再び問われやすい。このあたりの年度の過去問はしっかりやっておくこと。

(N.N.さん／文科三類)

物理

時間との戦いになります。詰まったら迷わず飛ばして次の問題にかかりましょう。公式を覚えるのは大前提ですが、公式の使い方をしっかりと理解していないと太刀打ちできない問題も多く出題されるので、過去問研究を通じて問題に慣れましょう。

(T.K.さん／理科一類)

化学

量が多いので80分程度では終わらないかもしれません。スピードの上昇には10分くらいの過去問をひたすら繰り返し解くことが有効です。最終的に大問一つを20分程度で解けることを目安に演習をすると、思考力と計算力の強化になると思います。

(K.F.さん／理科一類)